

令和5年度 坂町議会『議員』の評価

令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日

末吉 克巳 年齢 47 才 議員経験年数 5 年

令和6年4月5日

◎:「よくできた」 ○:「できた」 △:「努力が必要」 ×:「殆どできなかった」

評価期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日
評価実施者	末吉 克巳 年齢 47 才 議員経験年数 5 年
評価日	令和6年4月5日
評価の分類	◎:「よくできた」 ○:「できた」 △:「努力が必要」 ×:「殆どできなかった」

主要評価項目	評価	評価理由	課題
1. 議員活動の原則 1) 議会において、特に、言論を尊重し、自らの発言に責任を持ち、意見を述べたか。	○	すべての案件については質問を行っていないが、自分があらかじめ調査している案件については、積極的に質問した。	全協の時などで、行政側からいきなり案件資料を渡された場合は、その案件に対して、理解する時間、調査する時間がないのですぐには質問できないことがある。
2) 町民全体の代表者としての責務を深く自覚し、自己の能力を高める活動を積極的にしたか。	○	今年度は、町村議会研修の受講だけだったが、住民要望に積極的に取り組み、「どうしたら解決できるか?どのルートで話を通したら解決に近づけるか」といったことを実践し、住民要望の問題解決能力を高めた。来年度は議員を対象とした研修にも積極的に受講して知見を増やしたい。	議員を対象とした研修は、素晴らしい内容の研修だったとしても、その町々の、環境の違いなどで、習得した研修内容を実践するには難しいことが多い。
3) 個別的な事案の解決だけでなく、町民全体の生活の向上を目指して活動したか。	○	9月定例会で、「安芸地区1市4町の近隣連携協議会を設置しては」の件を質問し安芸郡安芸区の生活向上に向けた質問をした。	広島連携中枢都市圏制度で、「病児保育の利用」など、安芸郡、安芸区の市町と連携をしているが、その他でも生活向上の連携も必要である。
2. 自由討議の拡大 町政の課題や議会改革の推進について、議員相互間の自由討議（質問、討論）により議論を尽くして合意形成に努めたか。	△	令和5年度の議会報告会開催し、町民に状況説明したらどうか。バイサイドビーチをより魅力的にするため水尻駅高架橋の色を茶色ではなく水色にしてはどうかなど、問題点を発言し、議論した。他意見も尊重し、合意形成に努めた。	毎回でなくても良いので、挙手した議員だけが発言するだけで無く、議員全員の意見を発言する機会を設ける必要があるのではないかと思う。
3. 議会費および政務活動費 政務活動費の使途は適正かつ活動に有効に使われたか。また、議長に対して、証書類を添付した報告書を提出したか。	◎	政務活動費は使途基準を理解し、領収書を添付、期限内に提出した。	厳正に使途基準を定めているので特になし。
4. 選挙公約の評価 1) 防災、減災に取り組んでいきます	○	一般質問はしなかったが、防災士の資格を取得し、様々な防災士の行事に関わり自主防災の知識を深めた。	坂町の防災士取得者の横の連携が取れていない。町内の防災士がしっかりと連携し、自主防災の啓発につなげ、坂町内の自主防災意識を高める必要がある。
2) 若者をサポートする環境を目指します。	×	今年度は、若者をサポートする環境を目指した一般質問を行わなかった。来年度は一般質問などで取り組みたい。	坂町の若者が輝けるよう、「広島ひきこもり相談支援センター」の周知、広島地域若者サポートステーションとの連携が必要である。
3) 子育て環境のさらなる充実を目指します	×	子育て環境の一般質問を行わなかった。来年度は一般質問などで取り組みたい。	R6年度より、こども医療費助成事業の拡大することによりさらなる子育て環境が充実しつつあるが、ファミリーサポート制度が今一つ伸び悩んでいる。制度上使い難い部分がある。
4) 四世代が住みやすい町づくりを	○	住みやすいまちづくりの一環として、 ①坂町循環バス運行コースの延伸を検討しては ②安芸地区1市4町の近隣連携協議会を設置しては の2問を6月、9月定例会において、四世代が住みやすい町づくりを目指した一般質問した。	R6年度より、循環バスの土曜運行、など住み良い坂町を目指した施策がスタートするが、循環バスの運行されていない交通空白地域が存在する。新たな解決策として、一般ドライバーが自家用車を使って有料で客を運ぶ「日本版ライドシェア」の導入先に広島都市圏が選ばれている。今後、ライドシェア制度を考えてみる必要がある。